

医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。

使用上の注意改訂のお知らせ

2023年10月
東和薬品株式会社

強心・喘息治療剤

日本薬局方 アミノフィリン注射液

アミノフィリン静注 250mg「トーフ」

キサンチン系気管支拡張剤

テオフィリン徐放錠

テオフィリン徐放 U 錠 100mg/200mg/400mg「トーフ」

テオフィリン徐放性ドライシロップ

テオフィリン徐放 DS 小児用 20%「トーフ」

このたび、標記製品の使用上の注意を改訂いたしましたのでお知らせいたします。
今後のご使用に際しましては、改訂内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。

1. 改訂内容（対象製品共通） （_____：追記）

改訂後	改訂前						
<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>2.2 12時間以内にアデノシン（アデノスキャン）を使用する患者 [10.1 参照]</p>	<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>（該当する記載なし）</p>						
<p>10. 相互作用</p> <p>10.1 併用禁忌（併用しないこと）</p> <table><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td>アデノシン （アデノスキャン） [2.2参照]</td><td>本剤によりアデノシンによる冠血流速度の増加及び冠血管抵抗の減少を抑制し、虚血診断に影響を及ぼすことがある。アデノシン（アデノスキャン）を投与する場合は12時間以上の間隔をあけること。</td><td>本剤はアデノシン受容体に拮抗するため、アデノシンの作用を減弱させる。</td></tr></tbody></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	アデノシン （アデノスキャン） [2.2参照]	本剤によりアデノシンによる冠血流速度の増加及び冠血管抵抗の減少を抑制し、虚血診断に影響を及ぼすことがある。アデノシン（アデノスキャン）を投与する場合は12時間以上の間隔をあけること。	本剤はアデノシン受容体に拮抗するため、アデノシンの作用を減弱させる。	<p>10. 相互作用</p> <p>←新設</p>
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子					
アデノシン （アデノスキャン） [2.2参照]	本剤によりアデノシンによる冠血流速度の増加及び冠血管抵抗の減少を抑制し、虚血診断に影響を及ぼすことがある。アデノシン（アデノスキャン）を投与する場合は12時間以上の間隔をあけること。	本剤はアデノシン受容体に拮抗するため、アデノシンの作用を減弱させる。					

＜アミノフィリン静注 250mg「トーフ」での例＞
※その他品目についても同様の記載であり、各電子添文をご参照ください。

2. 改訂理由（自主改訂）

相互作用相手薬の記載との整合性を図るため、改訂いたしました。

今回の改訂内容につきましては、日本製薬団体連合会の医薬品安全対策情報（DSU）No.321（2023年11月）に掲載の予定です。

最新の電子添文は、医薬品医療機器総合機構のホームページ(<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>)及び弊社「東和薬品医療関係者向けサイト」(<https://med.towayakuhin.co.jp/medical/product/>)に掲載いたします。
また、専用アプリ「添文ナビ」で下記GS1バーコードを読み取ることで、最新の電子添文等をご参照いただけます。

アミノフィリン静注

テオフィリン徐放U錠

テオフィリン徐放DS小児用



(01)14987155748021



(01)14987155287056



(01)14987155040156

製造販売元

東和薬品株式会社

大阪府門真市新橋町2番11号

【製品情報お問い合わせ先】

学術部DIセンター

☎0120-108-932

○●医療関係者向けメール配信サービスのご案内●○

電子添文改訂等の適正使用情報に関するウェブサイト
更新情報をメールにてお知らせいたします。

<https://med.towayakuhin.co.jp/medical/mail.html>

